

会議名称：令和元年度2月期古賀市社会教育委員の会議

日 時：令和2年2月20日（木） 19時～20時30分

場 所：リーパスプラザこが 交流館103会議室

主な議題：「第7回古賀市生涯学習笑顔のつどい」について

傍聴者数：なし

出席者：松本委員、平島委員、角森委員、國友委員、村山委員、丸井委員、橋爪委員、秋山委員

（以上委員8名）

中村課長、村上参事補佐、森田主事、小嶋

欠席者：井浦委員

事務局：生涯学習推進課社会教育振興係

配布資料：レジュメ等

会議内容：以下のとおり

松本議長：

皆さんこんばんは。ただいまから、2月期社会教育委員の会議を始めます。先日は市長・教育委員との懇談会、お疲れさまでした。橋爪委員が挨拶の中で先日亡くなられた野村監督の言葉を引用されましたが、「財を遺すは三流、仕事を遺すは二流、人を遺すは一流」。

我々社会教育委員もまさに人を育てるということを忘れてはならないと思います。

それでは協議事項に移ります。事務局お願いします。

事務局：

皆さんこんばんは。令和2年になって初めての会議で、前回から2ヶ月が経過しておりますが、その間も皆さんには研修や懇談会への参加など、非常に貴重な経験をしていただいたと思います。

さて、第7回の笑顔のつどいの協議についてですが、前回の会議ではアトラクション団体の推薦までいただいたので、今回で決定してきたいと思います。

また、前回出演団体を4つ決定いたしましたので、今年度中に推薦いただいた委員さんと事務局とで出演交渉を行っていききたいと思っております。

そして、これは次回までの宿題となると思いますが、つどいのテーマ・サブテーマを決定してきたいと思います。

それから事務局からのお願いとなりますが、オープニング映像の活動写真を今の内から集めておいていただくと大変助かります。

事務局の方でも広報や青少年育成課等にお声掛けして子どもから大人まで、幅広い年齢層の写真を集めていきたいと思っております。

では、アトラクション推薦団体のご審議をよろしく願いいたします

松本議長：

ではまず前回の振り返りを少ししましょう。決定した4つ発表団体、村山委員からおひぎにだっこ、平島委員からわくわくフェスタ実行委員会、丸井委員からカメの会、そして私の方から古賀西校区コミュニティ運営協議会の推薦をいただきましたので、これから出演交渉を各々よろしく願います。

では、アトラクション団体を決定していきたいと思います。

(6団体から協議の結果、北中吹奏楽部に決定。出演不能の場合、東中、星の子文庫の順に交渉)

出演交渉については顧問の先生の人事異動が決定する4月以降に行いたいと思います。

では次に、テーマ・サブタイトルに移ります。

これは次回、3月会議までの宿題としますので、3月会議日程が決まってから逆算して締切を設定し、事務局に提出してもらいます。

それから写真についてですが、写真の偏りが課題となっておりますので、地区・年代のバランスを考えて、一人5枚から10枚程度、提出していただきたいと思います。

各委員で地区はまんべんなくカバーできると思いますので、よろしく願います。

事務局の方でも図書館やスポーツ、また先生方も校長経由などで依頼をお願いします。

写真の提出は急ぎませんが、早く提出できる方は早めをお願いします。

では次の協議事項、3. その他についてですが、1月2月の研修会での報告を出席した委員から願います。まずは1月25日の研修報告を平島委員から願います。

平島委員：

基調講演の須恵町長のお話が印象的でした。非常に民間レベルのマネジメント感覚をお持ちの方で、今後何十年かの短いスパンでの町の将来を見据え、核となる町内の中小企業支援のために町で企業を立ち上げ尽力されているのが本当にすごいと思いました。事例発表については、よくある事例だなという印象で、すみません、講演内容が非常に印象的だったものですから特に報告はございません。

國友委員：

私も事例発表はほとんど記憶に残っておらず、申し訳ありません。講演時に配られた資料に各町の財政状況がありましたが、本当に厳しい財政なのだということがわかりました。非常に、立派な方だな、と。

丸井委員：

S U E N O B A さんのお話は2回、別のところで聞いたことがありました。やはり、マネジメントの重

要性ですね。その時に久山町さんとご一緒したことがあったのですが、久山町さんはもっと面白いことをされていて、人とのつながりに力を入れていた印象がありました。事例発表の卓球部会については、古賀にもありますし、むしろ古賀の方が全部の校区から集まって活動をされていますね。

松本議長：

ありがとうございます。では2月8日の報告を、國友委員からお願いします。

國友委員：

構成としては基調講演、分科会という流れで、この分科会が我々のやろうとするワールドカフェ形式で非常に参考になりました。

スペース的にも多目的ホールとあまり変わらず、4団体で、間の取り方やブースの作り方、カフェコーナーなど、それから団体間でも声が邪魔しないかという点もさほど気にならないことがわかりましたので、よかったなと思いました。

発表内容は、私は読み聞かせ団体のお話を聞いたのですが、各公民館で親子の読み聞かせを行っておられるようで、こういうのが次の時代の人材発掘につながるのではないかなと思いました。

橋爪委員：

基調講演の山下先生のお話が非常に良かったなと思いました。今学校に余裕がないというのを教員の立場から感じました。分科会では家庭教育支援チームという存在を初めて知りまして、勉強になりました。

村山委員：

私は基調講演のみの参加でした。山下先生は男手一つで子どもを3人お育てになったそうで、子どもの育ちについてよく知っていらっしゃる方だなと思いました。

また、子育ての際に支援をいただいておりますので、何が必要であるかということ体験的にわかっていらっしゃるって、言葉が止まらないようでした。

子どもは無駄のかたまり、という言葉がありましたが、子どもの順調な育ちというものがどんなものなのか、ただ前を向いて座って授業を受けていればいいというものではないということをよくご存じでいらっしゃいました。

伴走型支援という上からではなく寄り添いながら支援するという構えを理解しておられる方で、もっとお話を聞いて質問もしたかったのですが、話が止まらず時間がなくなり、もったいなかったなと思いました。

松本議長：

私は研修のパンフレットを持ってきました。今後のつどいのパンフレットの参考になればと思います。

山下先生のお話が非常に良くて、子どもには無駄や余裕や遊びが必要だと、親や周りが縛ってはいけないと思いました。

ワールドカフェ方式も非常に楽しく、発表形式もパワーポイントの要求はしなくていいなと思いました。

発表内容も、企業さんを巻き込む手法も物品の提供より活動の提供をいただくという事例が興味深かったですね。

それから子ども食堂の発表もありましたが、今はもう子供に限らず名称も「みんなの食堂」など多様なあり方になっているんだそうです。

子どもの貧困という大きな課題の解決策には足りないけれど、大事なのは一人じゃないんだよ、いつでも来ていいんだよという気持ちのありようなのは確かだなと思いました。私の報告は以上です。

続きまして、2月12日の市長・教育委員との懇談会の感想を一人ずつ、感想をお願いします。

國友委員：

来年は日にちの設定を早めにするといいと思います。テーマを絞ったのは良かったと思います。

平島委員：

テーマを絞っていただいたのですが、横道に逸れた気がしました。

橋爪委員：

教員の立場で教育長や教育委員とお話できたのはとても貴重な体験でした。懇談会の話のズレもうまく修正できたらよかったかなと思いました。

秋山委員：

テーマから逸れたところもあったと思うのですが、古賀市に潜在する人的資源をどう活かすか、発信するかということを、自分の仕事で深めていけたらと思いました。

丸井委員：

逸れたというよりは、話が平行線というか噛み合っていなかったのかもしれないと思いました。教育委員さんとのお話はとても勉強になりました。

村山委員：

住民のニーズに対する変革が求められる状況と、市長さんが既にあるものをあると認めたくえで活かすというようなことをおっしゃっておられたのが腑に落ちるというか勉強になりました。

松本議長：

地域づくりには「もの・こと・ひと」というのが非常に重要ですが、たとえば「もの」で言えば旧用務員を転用してコミュニティ施設を作ってもらったり、「こと」で言えばいろいろなイベントの開催や補助金などをいただいていますし、あとは「ひと」ですね。新しい人を引き出す、という課題をどうしていくのか、それを市長も十分ご存じでしたね。

基本的に行政に100%依存せず、自分たちが地域づくりの主役となることで、充実感、達成感が得られるものだと思います。

一つ必要だと思うのは、コミュニティのグランドデザインですね。それは共有できたのではないかと思います。

事務局：

反省点としてはテーマの設定はしたものの、その読み込みの時間を皆様に提供することができていなかったと思います。次回はその点を踏まえて早めに設定したいと思います。

松本議長：

村上補佐が懇談会の総司会を務めてくださいましたが、どなたかコーディネーターをしていただけたらと思います。そうすれば、話の脱線も修正していただけたのではないかと。

では次に事務局からの報告をお願いします。

事務局：

事務局から社会教育関連行事の一覧をお配りしております。笑顔のつどいの写真もこういったリストから足を運んでいただけたらと思います。

次に配布物の確認、それから令和元年度活動報告書原案についてです。

原案につきましては基本的には事務局で作成いたしますが、第7回のつどいの主旨、テーマにつきましては社会教育委員の方々に筆を執っていただけたら、より充実した報告書になるのではないかと思います。

主旨につきましてはこちらで叩き台を作成して次回までに修正いただき、テーマにつきましては次回宿題となっておりますので、それぞれの思いを出して頂いて作成していただきたいと思います。

次に、リーパスカレッジの開講についてですが、森田より説明いたします。

森田主事：

現在生涯学習推進課3係では個別に講座事業をもってありますがこれを統合再編成し、名称をリーパスカレッジと変更して来年度から開講いたします。

単純に合わせるだけでなく、市民に学習提供の機会に気づいてもらえるように、魅力ある講座を準備したいと思います。

特にポイントとしましてはアウトリーチ事業で、今までは気づいた方たちだけに来ていただいて情報を提供し、広めてくださいねというある意味で後は放任という形でしたが、最初の学びのきっかけをもとに、より深いところを求める少数の方に情報を届けに行くというような出前講座を実施していきたいと思っております。

みなさんに来ていただくリーパスプラザでの講座をもっと魅力的にして、学習意欲を掻き立てて、それに対するケアも充実させるような試験的な取り組みも積極的に行っていこうと思いますので、委員の皆さんも是非このリーパスカレッジという新しい講座事業を覚えていただけますと非常に助かりますのでよろしくをお願いします。

松本議長：

では、次回の開催日程ですが、協議の結果秋山委員のご都合が合わず申し訳ありませんが、26日木曜日で決定いたします。

これに合わせて事務局に宿題の提出をお願いします。

少々早く終わりましたので、この場を借りて皆さんにお伺いしたいのですが、開会時間を19時に設定しておりますが、これを少し早めることはできるでしょうか。

(丸井委員が来年度になってみないとわからないという以外は早めの開催でも構わないとの回答)

では次回の会議で来年度の開始時刻を決めたいと思います。

それではおわりの言葉を角森委員よりお願いします。

角森委員：

コロナウイルスがとうとう九州上陸したとのことでしたが、おそらく既にもうあるのではないかな、という専門家のお話もあります。

大切なのは、手洗いと、1時間ごとに部屋の空気を入れ替える、それから質の良い睡眠です。

ゆっくり寝て、美味しいものを食べて、体力をつけてください。お疲れさまでした。